

シンフォニックな女声合唱団

SanaTexere

サーナ・テクセレ ～音を紡ぐ～

サーナ・テクセレ 第6回演奏会

Georg Friedrich Händel
MESSIAH

ヘンデル作曲 富岡正男 編曲

～女声3声による～《メサイア》

響きが、
空間を満たす。



音楽監督・指揮・バリトン
加末 徹



ソプラノ
山口清子



アルト
横瀬まりの



テノール
中嶋克彦



管弦楽

プロムジカ・パロック・アカデミー

2026年 9月 22日 (祝火) 13:00 開演 [12:30 開場]
ミュージア川崎 シンフォニーホール

JR川崎駅 中央西口から徒歩3分 / 京急川崎駅 中央口から徒歩8分

※開演時間を過ぎますとロビーにてお待ちいただく場合がございます。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

S席：4,000円 A席：3,000円【全指定席】

【主催・お問合せ】サーナ・テクセレ事務局：Tel/Fax 03-3367-2451 sana@music.se-net.jp <https://sanatexere.jimdofree.com>

女声合唱団サーナ・テクセレ、《メサイア》をシンフォニックに歌い上げる

第5回演奏会 2025年8月28日 小金井宮地楽器ホール 大ホール



音楽監督・指揮・バリトン

加来 徹 KAKU, Toru

東京藝術大学大学院首席修了。大学院アカンサス賞受賞。二期会オペラ研修所を総代で修了。最優秀賞および川崎静子賞受賞。世界の歌曲を歌い分ける技術に長けておりオペラシティ財団主催リサイタルシリーズ《B→C》では東京、福岡両公演満席の中、10ヶ国語による歌曲プログラムを熱演。バッハ・コレギウム・ジャパンでは多くの公演で定期的にソリストを務めている。そのほか海外でも

26年3月から4月にかけて開かれたオランダ・バッハ協会「マタイ受難曲」公演のソリストに抜擢され、オランダ各地で14公演出演。また、オペラでの活躍もめざましく、日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、『ランメルモールのルチア』エンリーコ、二期会『金閣寺』鶴川、『こうもり』ファルケ等、数多くの作品に出演。21年『ルル』では急遽代役としてのオファーを受け、難役シェーン博士を僅か2週間で務めた。25年4月に5thアルバム【詩人の恋】をリリース。その他、プロムジカ使節団のCD【イタリアンソング with 加来徹】では、イタリア初期バロックのプログラムも収録。NHK「リサイタル・ノヴァ」「名曲アルバム」「すくすく子育て」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等メディアにも多数出演。Jリーグチーム、アビスパ福岡の熱狂的サポーターとしても知られ、2021&2022のJリーグ開幕戦では国歌独唱も行う。最近指揮者としての活動も多く混声合唱団コール・グラウベン福岡音楽監督や女声合唱団サーナ・テクセレ音楽監督を務めている。洗足学園音楽大学非常勤講師。

サーナ・テクセレ メンバー

新井恵子	楠三喜子	杉山佳世	根岸聖子	藤井記子
五十嵐富美子	黒川京子	鈴木晴美	野口千草	古沢祐子
石川理絵子	木幡ひろ実	高橋淑子	野村紀子	牧田身知子
石崎敦子	佐枝陽子	高森珠美	橋本美奈子	水野くに子
井上明香	佐藤江里子	瀧口和子	濱下ひろみ	宮坂京子
植松いのり	佐藤静恵	武田雅子	東こづ糸	武藤和子
大脇依保子	佐藤奈保子	中山章子	平田律子	森山由希
岡田久美子	佐藤みれい	奈須田はるみ	平永玲子	吉村良子
角山登美子	新保麻紀	鍋田多美子	平野裕子	渡辺由美

【賛助ソプラノ】	石塚紫音莉	藤原優花
【賛助メゾ・ソプラノ】	浅谷里美	伊藤和奏
【賛助アルト】	安藤千尋	長島有葵乃

日本を代表するバリトン、加来 徹が率いる女声合唱団サーナ・テクセレ。2019年の創立以来、“シンフォニックな女声合唱団”として、澄んだ女声のアンサンブルによる広がりある響きを追求してきました。今回の舞台は、サー・サイモン・ラトル氏が「世界最高のホールのひとつ」と称えた、豊潤な響きを誇るミュゼ川崎シンフォニーホール。女声三声によるヘンデル《メサイア》に挑みます。古楽界の第一線で活躍する独唱陣、そしてプロムジカ・バロック・アカデミーとともに描く、新たな《メサイア》。—その希少な響きを、ぜひ会場でご体感ください。

ソプラノ：山口清子 YAMAGUCHI, Kiyoko

東京音楽大学卒業。同大学研究科及び、東京藝術大学大学院修士課程修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家海外研修員として、イタリア・ボローニャに留学。その後ドイツへ渡りマインツ音楽大学のバロック声楽コースにて研鑽を積む。様々なオペラ出演のほか、バッハ・コレギウム・ジャパンのコーラスメンバーとして国内外のコンサートに参加している。二期会会員。

アルト：横瀬まりの YOKOSE, Marino

埼玉県出身。東京藝術大学および同大学院修士課程修了。宗教声楽作品やバロック音楽を活動の中心とし、近年はクラシックの枠を超えファッションショーや映画祭などで新作を歌うなど、多方面での表現を展開している。第36回山梨国際古楽コンクール入選。Instagram: singer_marinoyokose

テノール：中嶋克彦 NAKASHIMA, Katsuhiko

福岡教育大学音楽科卒業。東京藝術大学大学院修士課程オペラ科修了。同大学院博士課程オペラ科修了、博士号取得。2012年より文化庁在外派遣研修員としてドイツに留学、マインツ音楽大学のバロック声楽コースにて研鑽を積んだ。宗教曲やオラトリオなどコンサートのソリストとして多数出演している。国立音楽大学大学院非常勤講師。

管弦楽：プロムジカ・バロック・アカデミー

PROMUSICA BAROQUE ACADEMY

プロムジカ・バロック・アカデミーはチェンバロ・通奏低音奏者の圓谷俊貴により創設。国内外で活躍する若手オリジナル楽器奏者で構成される。2024年からJS. バッハ カンタータ作品全曲演奏《All Bach Cantatas プロジェクト》を開始。新曲委嘱作品の世界初演にも積極的に取り組む。サーナ・テクセレをはじめ、共演する合唱団からも全幅の信頼が寄せられている。

合唱：サーナ・テクセレ Sana Texere

バリトン歌手として活躍する加来徹を音楽監督とした女声合唱団。Sana Texereとは「音を紡ぐ」という意味。2018年7月に設立し、アカペラを基本としつつ、器楽とのアンサンブルも織り込んだ多彩なプログラムに取り組んでいます。これまで声楽作品でヨーロッパの国を巡っており、2019年11月の創立演奏会ではイギリス、2021年第2回ではフランス、2023年第3回ではドイツ、2024年第4回ではイタリアそして前回の第5回は日本に戻り、音楽による国巡りは一旦終了となりました。今回の女声版《メサイア》を機に新しい冒険に挑戦して参ります。

音楽監督・常任指揮者：加来 徹
合唱指導：山口清子 伴奏：尾藤万希子
事務局：佐枝陽子 企画・制作：柴 大元

【チケット前売り】 好評発売中！

ミュゼ川崎シンフォニーホールチケットカウンター

チケットは、ホール窓口か最寄りのセブンイレブン/ファミリーマートでお引取出来ます。郵送も可。

■窓口での購入 エスカレータでミュゼ4階
○営業時間 10:00～19:00 (土・日・祝も営業)

■電話でのお申込み 044-520-0200
○営業時間 10:00～18:00 (土・日・祝も営業)

■インターネットでのお申込み
(利用登録(無料)が必要です)
<http://muza.pia.jp/>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

チケットぴあ サーナ・テクセレ 検索

セブン・イレブン店頭でも購入可能

teket

